

白布ヶ丘だより

2月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

1 学年主任より

昨年(2018年)の12月、引率で少林寺拳法の関東大会に行っていました。その開会式の挨拶で、興味深いお話がありました。〈鎌倉の浄智寺を、知り合い数人と訪れた。その山門には『寶所在近(ほうしょざいきん)』という額が掲げてあった。「宝のある所は近くに在る」という意味。そこで、ある人がこの額でいう宝の在りかはどこだと思えるか?と問うてきた。近くというのが門の前は石畳の参道があるだけ。その参道の横にある池か、参道沿いの樹木のどれかか。そもそも、宝とは?皆の心をざわつかせたところで、その人は答えた。「宝は、ここです。この額を見ている、私たち自身です。」と、このようなお話でした。なるほど、自分にとって一番の宝は自分自身というオチ。私は、とても印象深くこの話を受け取りました。帰ってから『寶所在近』を調べました。実際は禅語で、宝とは彼岸(悟りの世界)であり、修行に挫折そうになった時の激励の言葉でした。「彼岸はそう遠いところにあるものではない、立派な僧侶になるための努力をせよ。」という意味らしいです。悟りは精神世界なので、遠くにではなく、自分のなかで感得する内在化が必要だと読み解けば、宝は自分自身(の中にある)という解釈もありかと思えます。そして次に『玉磨かざれば光なし』ということわざにつなげてみます。「自分自身の一番の宝は自分、でも宝(=玉)は磨かなければ光らない、磨きましょう。」と。ただ、ここでまた問いをひとつ。「玉を磨くのはだれなのか?」自分という宝を磨くのは誰なのか。でもこの問いの答えは簡単です。自分という宝を磨くのは、自分です。自分しかいないのです。そして、自分で自分を磨くことこそが〈主体性〉を持つということになるのでしょうか。

教育はこれから〈主体生〉が評価されます。高校大学接続改革の取組みにより、大学入学共通テストも2020年度(2021年1月)より始まりですが、高校教育の学力3要素のキーが〈主体性〉です。変化の激しい社会の中で自立的に活動していく力を養うべく、高校ではより一人一人の主体的な学びの姿勢が重視されることになるのです。

さて、わが1学年も真岡高校に入学してはや1年。生徒一人一人が真高の宝。高校は一人一人が己を磨く場です。主体的な学びの姿勢を育成すべく、1学年では総合的な学習の時間で「学修状況評価」という取組みを行っていました。自分で学習の計画を立て、実行し、結果が出たら振り返るといふ、サイクルを続けることで自分の学習スタイルを確立していくという試みで、2学期にはグループ協議も行い、互いに刺激し合いました。そうして自分の学修状況を自分でまとめ(評価)し、3月には一人一人がまとめを書いた模造紙を指し示しながら教員2名の前で発表する予定です。〈己を磨く〉ことの

一つになると期待します。ご家庭でもどのような発表をしたのか是非聞いていただきたく思います。

2 学年主任より

2年生の皆さんは、高校に入学し2年が過ぎようとしています。本当に早いものです。残された1年間は更に早く感じる生徒が多いのではないかと思います。これはどうやら大抵の生徒が感じることで、きっと皆さんも終わってみれば同じような感想をもつのでしょうか。よく時間は全ての人に平等に与えられている、と聞きますが時間の感じ方は人それぞれです。若くして多くのことを成す人は、どのように時間を感じ取っているのでしょうか。

私達は体感的に長く感じる時間と短く感じる時間があることを知っています。

① 齢を重ねると1年が短く感じられる。これは1年間が年齢分の1であるからだそうです。

なるほど一理ありそうに思えます。30歳の人にとって1年は1/30の長さに過ぎない。でも昨日より歳をとった今日の1時間が長いなんてことはよくあることで、そればかりとは言えないようです。

② 新しく取得する新鮮な情報が多い場面では時間は長く感じる。これにも一理あるように思えます。例としては、行った事のない場所に調べながら行くときと、そこから帰るときでは、往路の方が長く感じられるようです。年齢を重ねると大抵、未知の経験は減るので①の説を後押しする考え方です。個人的には、トラックをグルグル5km走るのよりは、街中を景色や行き交う人々を眺めながら同じ時間をかけて5km走ったほうが短い時間に感じられるので②ばかりとも言えない気がします。

③ 楽しい時間はあっという間に過ぎる。時間経過に向けられる注意が関係するようです。例としては、退屈だと時計ばかりを見てしまう、などでしょうか。当然一理あると思いますが、受験が楽しかったということにもなります。

実際には、この他にも多数の要因が複合的に絡み合って時間の感覚は変わるようです。身体的代謝も関係するそうです。

受験期には誰もが楽しい、楽しくないに関わらず時間を意識することになります。多くの場合私達は、時間を意識するあまり過剰な不安を生み出したり、時間を意識しつつも無駄な時間を過ごしたりしています。時間の流れは我々の意識ひとつで長くも短くもできるように思えます。若くして多くを成す人は、自分が感じている時間の流れをコントロールし、より濃密な時間をつくることに長けているように思えます。

皆さんは時間の流れをコントロールして、次の1年をより濃密なものにしていきましょう。

租税教室

2月1日(金)の第6時限に1年生を対象とした租税教室を実施しました。栃木税務署の中山透署長(本校第30回・昭和52年度卒)が、税金の種類や仕組み、税金がどのように使われているかを説明してくださいました。高校生にも一人あたり年間約100万円の税金が使われているとのこと。また、消費税は税収が安定しており、社会保障を充実・安定化させるための財源としてふさわしい税金であるという説明もありました。



日本数学オリンピック本選出場

数学同好会会長の柳陽翔君(2年)が予選を突破し、日本数学オリンピック本選に出場しました。本校生の本選への出場は2年生では初となるものです。なお、県内では4名の高校生が予選を突破しました。2月4日(月)に校内放送による壮行会を実施し、柳君を激励しました。

◎第29回日本数学オリンピック本選
期日 2月11日(月)
会場 東京都 早稲田大学早稲田キャンパス

学年奉仕活動

1年生による奉仕活動を2月15日(金)の第6、7時限に行いました。卒業式に向けて講堂も含めて校舎内外を綺麗に清掃しました。



年金セミナー

2月15日(金)の第6時限に2年生を対象とした年金セミナーを実施しました。講師は、日本年金機構宇都宮東年金事務所の荒川径子さんと、今年も「知っておきたい年金のはなし」という演題で、公的年金制度について大変丁寧にわかりやすく説明をしていただきました。講演

終了後は、教室でワークシートのまとめを実施しました。

第2回学校評議員会開催

2月15日(金)本校会議室に於いて本年度2回目の学校評議員会が実施されました。学校評価アンケートの結果等を学校評議員の方々に御説明した後、生徒会役員が今年度の生徒会の活動に対する説明とスマホの使い方に対する提言を行いました。その後、学校運営に関する御質問や御意見をいただきました。生徒会役員の発表はとても好評でした。いただいた御意見については学校関係者評価として、今後の学校運営に生かして参ります。また、保護者の皆様にも御協力いただきましたアンケートの結果は、本校の自己評価とともに年度末にHPにて公開いたします。



2月～3月の行事予定

【2月】

- 19日(火) 学年末テスト(～22日)
- 22日(金) 進路集会(1・2年)
- 23日(土) 土曜開放
- 25日(月) 面接強化期間(～3/16)
- 27日(水) 卒業式場作成・大掃除(5限～)
- 28日(木) 卒業式予行・同窓会入会式
「白布ヶ丘PTA通信」発行

【3月】

- 1日(金) 卒業式
- 2日(土) サタデーセミナー(1・2年)
- 土曜開放
- 5日(火) 午前中授業
- 午後学力検査準備
- 6日(水) 一般選抜
- 生徒登校禁止(部活動なし)
- ライトダウンデー
- 7日(木) 生徒休業
- 8日(金) 生徒休業
- 9日(土) スタディーサポート(1年)
- 土曜開放
- 11日(月) 生徒登校禁止(部活動なし)
- 12日(火) 合格者発表
- 13日(水) 短縮日課(45分授業)
- 15日(金) 合格体験発表会
- 16日(土) 校舎立入禁止
- 17日(日) 校舎立入禁止
- 18日(月) 生徒登校禁止(部活動なし)
- (定時制入試)
- 22日(金) 修業式・大掃除
- 25日(月) 新入生オリエンテーション